2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　　株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所　　上場取引所　東
コード番号　　4576　　URL　https://www.dwti.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）日高　有一
問合せ先責任者　（役職名）取締役　　（氏名）松原　さや子　　（TEL)052-218-8785

配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	51	△82.7	△483	―	△501	―	△502	―
2025年12月期第３四半期	297	△14.9	△478	―	△491	―	△492	―

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　△502百万円（－%）　2025年12月期第３四半期　△492百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	△8.91	―
2025年12月期第３四半期	△10.75	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	1,372	1,238	90.3
2025年12月期	2,169	1,435	66.1

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　1,238百万円　2025年12月期　1,434百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300	△22.6	△780	―	△800	―	△800	―	△14.75

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	57,599,412株	2025年12月期	54,251,712株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	11,387株	2025年12月期	286株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	56,335,202株	2025年12月期３Ｑ	45,850,730株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
（４）継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（重要な後発事象） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間において、当社グループは新薬の継続的な創出と開発パイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

緑内障治療剤「H-1337」は、３月に千寿製薬株式会社（以下、千寿製薬）と日本及びアジア地域等を対象としたオプション契約を締結しました。当社は米国第Ⅲ相臨床試験の準備を進めておりましたが、この契約締結を機に、「H-1337」について日本での開発を先行する方針に転換するとともに、千寿製薬から194百万円の出資を受け入れました。現在、日本の臨床試験に向けて必要な非臨床試験等を行っております。なお、米国での開発については、日本の開発状況を踏まえて改めて開始時期を検討いたします。

ライセンスアウト済み開発品であるフックス角膜内皮変性症治療剤「K-321」は実施中の２つのグローバル第Ⅲ相臨床試験のうち、残る１試験について、３月に観察期間を終了いたしました。これにより、グローバル第Ⅲ相臨床試験の観察期間は全て完了し、現在、データ解析を進めております。さらに、共同開発品である神経疼痛治療薬「Bondlido」は、５月に共同開発先の株式会社メドレックスが米国の製薬会社Terrain Pharmaceuticalsと米国での販売提携に関する基本条件について合意しました。今後、販売ライセンス契約に関する条件詳細を確定し正式な契約を締結するとともに、2026年内の上市に向けて準備を進めております。その他、各開発品についてもそれぞれ開発を進めました。

研究プロジェクトについては、眼科関連疾患を中心に新薬候補化合物の探索のための研究開発活動及び大学等との共同研究を推進いたしました。

このような中、当第３四半期連結経営成績は、上市されている「グラアルファ®配合点眼液」の販売が国内及びアジア地域において順調に推移したことにより売上高51百万円（前年同期比82.7％減）を計上いたしました。なお、「TissueBlue™」（開発コード「DW-1002」）については、ライセンスアウト先のDutch Ophthalmic Research Center International B.V.(以下、DORC社)とのライセンス契約が2025年12月に満了となり、特許が存続している地域の契約延長に向けて、当第３四半期連結会計期間末日現在において条件等の詳細を協議中です。このため、当第３四半期連結累計期間の売上高には「TissueBlue™」のロイヤリティは含まれておりません。今後、契約延長の合意内容に基づき、「TissueBlue™」のロイヤリティを売上高として計上する見通しです。

販売費及び一般管理費については、535百万円（前年同期比28.2％減）となりました。その内訳は、研究開発費が349百万円（前年同期比34.8％減、前年同期は「H-1337」の米国後期第Ⅱ相臨床試験を実施）、その他販売費及び一般管理費が人件費の減少等により185百万円（前年同期比11.5％減）となりました。

これらにより、営業損失は483百万円（前年同期営業損失478百万円）、経常損失は営業外費用に支払利息11百万円及び新株発行費６百万円を計上したこと等により501百万円（前年同期経常損失491百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は502百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失492百万円）となりました。

なお、当第３四半期連結累計期間における新薬候補化合物開発状況は以下のとおりです。

①上市品

製品名等		対象疾患	地域	ライセンスアウト先
TissueBlue™	ブリリアントブルーG	内境界膜染色	米国	DORC
グラアルファ®配合点眼液	リパスジル塩酸塩水和物/ブリモニジン酒石酸塩	緑内障・高眼圧症	日本・アジア	興和

②開発パイプライン

開発コード等		対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先
K-321	リパスジル塩酸塩水和物	フックス角膜内皮変性症	第Ⅲ相臨床試験	米国、欧州等	興和
DW-1002	ブリリアントブルーG	内境界膜染色	第Ⅲ相臨床試験	日本	わかもと製薬
		水晶体前嚢染色	第Ⅲ相臨床試験	日本	
	ブリリアントブルーG／トリパンブルー	内境界膜及び網膜上膜染色	申請準備中	米国	DORC

開発コード等	対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先
DW-1001	眼科用治療剤（非開示）	第Ⅰ相臨床試験	日本	ロート製薬
H-1337	緑内障・高眼圧症	臨床試験準備中	日本	自社開発
		後期第Ⅱ相臨床試験終了	米国	自社開発
H-1129	免疫異常を基盤とする角結膜疾患治療薬（非開示）	臨床試験準備中	日本	自社開発
Bondlido（DW-5LBT）	帯状疱疹後の神経疼痛	承認	米国	メドレックスと共同開発
DWR-2206	水疱性角膜症	第Ⅱ相臨床試験	日本	アクチュアライズと共同開発

③研究プロジェクト

当社グループは、プロテインキナーゼ阻害剤を中心とした新薬候補化合物の創出を行っております。プロテインキナーゼを対象とする疾患は様々ですが、特に眼科関連疾患に注力した研究を推進しております。また、自社の創薬基盤技術を活かし、他社との提携を積極的に推進しております。

主なプロジェクトとしては、眼科関連疾患や免疫・炎症系、呼吸器系疾患等を対象としたシグナル伝達阻害剤開発プロジェクトを当社研究所（国立大学法人三重大学の研究施設）において行っております。また、大学等との共同研究においては、当社開発品の適応拡大や眼科関連疾患を対象に複数のプロジェクトを進めております。

（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末から797百万円減少し、1,372百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から799百万円減少し、1,221百万円となりました。主な要因は、金融機関からの借入金の一部について期限前返済を実行したこと等により、現金及び預金が860百万円減少したこと等によるものです。固定資産は、前連結会計年度末から１百万円増加し、150百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末から600百万円減少し、133百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から144百万円減少し、59百万円となりました。主な要因は、金融機関からの借入金の一部について期限前返済を実行したことにより、１年内返済予定の長期借入金が74百万円減少したこと等によるものです。固定負債は、前連結会計年度末から456百万円減少し、74百万円となりました。この要因は、金融機関からの借入金の一部について期限前返済を実行したこと等により、長期借入金が456百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末から196百万円減少し、1,238百万円となりました。主な要因は、第三者割当による新株式の発行及び新株予約権の行使等により資本金及び資本剰余金が各々153百万円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が502百万円減少したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は90.3%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の通期連結業績予想につきましては、2026年２月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

（４）継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、創薬研究及び臨床開発費用が収益に先行して発生する等の事業特性上の理由から継続的に営業損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローが発生しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

このような状況の解消を図るべく、当社グループは保有する開発パイプラインの順調な開発進捗による早期上市、開発パイプラインの拡充による更なる収益機会の獲得を進め、さらに、現在実施している資金調達を進めることにより研究開発に必要な資金を確保するとともに、必要に応じて新たな資金調達等を実施することも検討して参ります。

資金面においては、継続的なロイヤリティ収入及び開発費用のコントロール並びに主力金融機関からの借入、第三者割当による新株式の発行及び新株予約権の発行並びに割当先による行使等、適時に実施している資金調達により、当第３四半期連結会計期間末において849百万円の現金及び預金残高を有し、当面の事業活動を展開するための資金は確保できております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性はないと認識しております。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,709,790	849,520
売掛金	94,502	113,522
貯蔵品	86,921	122,556
その他	128,871	135,467
流動資産合計	2,020,086	1,221,066
固定資産		
有形固定資産	9,221	11,735
無形固定資産	2,355	1,695
投資その他の資産		
その他	150,276	149,934
貸倒引当金	△12,477	△12,390
投資その他の資産合計	137,798	137,544
固定資産合計	149,375	150,974
資産合計	2,169,461	1,372,041
負債の部		
流動負債		
１年内返済予定の長期借入金	99,048	25,000
未払金	66,380	19,196
未払法人税等	618	4,860
その他	37,835	10,138
流動負債合計	203,882	59,194
固定負債		
長期借入金	506,130	50,000
その他	24,000	24,000
固定負債合計	530,130	74,000
負債合計	734,012	133,194
純資産の部		
株主資本		
資本金	697,340	850,556
資本剰余金	1,280,933	1,434,149
利益剰余金	△543,564	△1,045,714
自己株式	△0	△0
株主資本合計	1,434,709	1,238,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△34	△144
その他の包括利益累計額合計	△34	△144
新株予約権	774	－
純資産合計	1,435,449	1,238,846
負債純資産合計	2,169,461	1,372,041

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	297,097	51,490
売上原価	30,062	－
売上総利益	267,034	51,490
販売費及び一般管理費		
研究開発費	535,424	349,340
その他	210,061	185,813
販売費及び一般管理費合計	745,485	535,153
営業損失（△）	△478,450	△483,663
営業外収益		
受取利息	1,560	3,893
為替差益	758	－
貸倒引当金戻入額	883	－
その他	103	110
営業外収益合計	3,305	4,003
営業外費用		
支払利息	6,078	11,123
為替差損	－	2,291
新株発行費	6,008	6,809
その他	4,287	1,123
営業外費用合計	16,374	21,347
経常損失（△）	△491,520	△501,006
税金等調整前四半期純損失（△）	△491,520	△501,006
法人税、住民税及び事業税	1,196	1,142
法人税等合計	1,196	1,142
四半期純損失（△）	△492,716	△502,149
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△492,716	△502,149

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純損失（△）	△492,716	△502,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△109	△109
その他の包括利益合計	△109	△109
四半期包括利益	△492,826	△502,259
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△492,826	△502,259
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

当社は、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

当社は、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年３月25日開催の取締役会において、第三者割当による新株式の発行を決議し、2026年４月10日払込が完了したことにより、資本金及び資本準備金がそれぞれ99,998千円増加しております。

また、当社が2025年７月31日に発行いたしました第三者割当による第13回新株予約権（行使価額修正条項付）の行使による払込により、資本金及び資本準備金がそれぞれ29,660千円増加しております。

さらに、2026年５月14日を払込期日とする譲渡制限付株式報酬としての新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ23,556千円増加しております。

これらにより、当第３四半期連結会計期間末において資本金が850,556千円、資本剰余金が1,434,149千円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	35,550千円	4,910千円

（重要な後発事象）

（第三者割当てによる第14回新株予約権の発行及び第２回無担保社債の発行）

当社は、2026年９月14日開催の取締役会において、第三者割当てによる第14回新株予約権（行使価額修正条項付）（以下「本新株予約権」といいます。）の発行及び第２回無担保社債の発行（以下「本社債」）を決議し、2026年10月１日に本新株予約権の発行価額の総額及び本社債の払込みが完了いたしました。その概要は次のとおりであります。

１.本新株予約権の概要

割当日	2026年10月１日
発行新株予約権数	390,000個
発行価額	総額14,430,000円（本新株予約権１個につき37円）
当該発行による潜在株式数	潜在株式数：39,000,000株（本新株予約権１個につき100株） 本新株予約権について上限行使価額はありません。 本新株予約権の下限行使価額は44円ですが、下限行使価額においても、潜在株式数は39,000,000株です。
調達資金の額（差引手取概算額）	3,086,430,000円（注）
行使価額及び行使価額の修正条件	当初行使価額　79円 本新株予約権の行使価額は、本新株予約権の各行使請求の効力発生日に、かかる効力発生日の直前取引日（同日に終値がない場合には、その直前の終値のある取引日をいいます。）の株式会社東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値の90％に相当する金額（円位未満小数第２位まで算出し、小数第２位を切り上げます。）に修正されます。但し、かかる算出の結果、修正後の行使価額が下限行使価額を下回る場合には、下限行使価額を修正後の行使価額とします。
資本組入額	本新株予約権の行使により当社普通株式を発行する場合において増加する資本金の額は、会社計算規則第17条第１項の規定に従い算出される資本金等増加限度額の２分の１の金額とし（計算の結果１円未満の端数が生じる場合はその端数を切り上げた額とする。）、当該資本金等増加限度額から増加する資本金の額を減じた額を増加する資本準備金の額とする。
募集又は割当方式	第三者割当ての方法によります。
行使期間	2026年10月１日から2029年９月30日（但し、行使期間の最終日が銀行営業日でない場合にはその前銀行営業日を最終日とします。）
割当先	グロース・キャピタル株式会社
資金の使途	「H-1337」の開発資金

（注）調達資金の額は、本新株予約権の払込金額の総額に本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額の合計額を合算した金額から発行諸費用の概算額を差し引いた金額です。なお、本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額の合計額は、当初行使価額で全ての本新株予約権が行使されたと仮定した場合の金額であります。本新株予約権の行使価額が修正又は調整された場合には、調達資金の額は増加又は減少します。また、本新株予約権の行使期間内に行使が行われない場合及び当社が取得した本新株予約権を消却した場合には、調達資金の額は減少します。

２.本社債の概要

名称	株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所第２回無担保社債
額面の総額	500,000,000円
額面金額	12,500,000円
利率	なし
払込金額	額面100円につき金100円
償還金額	額面100円につき金100円
払込期日	2026年10月1日
償還期日	2027年10月29日
社債償還方法	満期一括償還のほか、繰上償還条項が規定されています。 ①新株予約権の行使による払込金額が社債の金額（12,500,000円）の整数倍に達する度、５取引日以内に繰上償還します。 ②2026年中の行使分については、行使累計額が300,000,000円を超えるまでは繰上償還を行わず、300,000,000円を超えた部分について、①を適用します。 ③2026年中の行使累計額が300,000,000円に達しなかった場合は、2027年１月以降の行使分について、①を適用します。
総額引受人	グロース・キャピタル株式会社に金400,000,000円、ネクストグロース株式会社に金100,000,000円の本社債をそれぞれ割り当てました。
資金の使途	「H-1337」の開発資金